



# べにまる

「輝きを未来に」

- 自ら学ぶ子 ○思いやりのある子
- 最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和3年10月29日

発行責任者 松原 康雄

## なぜ勉強をするのか

校長 松原 康雄

羊蹄山の山頂に雪が積もり、秋の終わりが近づきつつあることを感じさせます。手袋や耳あてをして登校する子どもたちも見られるようになりました。新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除されてから1ヶ月近く経ちますが、感染者数も少ないまま推移し、ようやく一息つける状態になってきました。けれども気を抜くと再び感染が広がることも考えられるため、学校では感染拡大防止に引き続き努めて参ります。

学校は勉強をするところ、という意識を子どもたちは持っています。けれども、なぜ勉強をするのか、ということあまり考えたことはないのではないのでしょうか。年齢を重ねていくと、自分の夢を叶えるために必要だから、ということに気がつきます。しかし、世界に目を向けると別の理由に気づかされます。開発途上国の中には教科書やノートが十分にない中、学校に行き一生懸命勉強する子どもがいます。それは勉強で得た知識をもとに少しでも良い仕事に就き、少しでも生活を良くしたいという気持ちを抱いているからだといわれます。それが勉強に取り組む原動力になっているのですね。

一方、日本は豊かになり現状の生活に満足し、より良い生活を求める気持ちが減っているかもしれません。私達の今の生活は、親や祖父母の代が一生懸命勉強し仕事をして築き上げたものです。それを維持し発展させるために、勉強していくことが不可欠です。子どもたちには、勉強は自分の夢を実現するために大切なもの、そして生活を豊かにしていくための大切なものであることに気づき、これからも一生懸命に取り組んでほしいと考えています。

留寿都村教育委員会公式Facebook・  
Instagramを開設しました！



この度、留寿都村教育委員会では公式Facebook・Instagramを開設しましたので、お知らせいたします。教育委員会が主催する行事やイベントなどを発信していきます。運用ポリシーについては、留寿都村ホームページでご確認ください。

【Facebook】



【Instagram】



&lt;ユーザーネーム：rusutsu.edu&gt;

&lt;ユーザーネーム：rusutsu\_edu&gt;

QRコード読み取るとそれぞれのページにリンクします。

## 5年生宿泊学習

2回目の緊急事態宣言で、急遽延期となった宿泊学習が無事終わりました。約一ヶ月遅くなったことで、気温も低くなり水の活動等内容を若干変更したものの、充実した体験活動を行うことが出来ました。黒松内町の歌才自然の家に宿泊し、ブナの森自然学校のガイドにお世話になりました。



## 6年生修学旅行

6年生は6月に予定していた修学旅行が、一回目の緊急事態宣言で延期となりました。しかし当日は好天に恵まれ、快適な気温の中、計画通りの行程を回ることができました。特に、函館山からの夜景は、秋と言うことで日暮れも早く、前日の雨もあり、とても綺麗でした。これで、小学校の2大宿泊行事が無事終了しました。来年こそは予定通りに実施できることを望みます。



## 後期児童会始まる

児童会選挙を行い、その後各専門委員を決定しました。児童総会を行い、後期の活動が始まりました。留寿都小学校をより良くするために、進んで活動する姿を期待します。